

## 第18回

## 評論キーワード100

①

## ① 具象

ぐしやう

## ② 抽象

ちゆうしやう

西洋の芸術表現は写実主義であり、美術の対象は□□による再現である。(三井秀樹「かたちの日本美」) 白は色であることにとどまらない。不在やゼロ度のような□□的な概念をも含んでいる。

(原研哉「白」)

**意**具象⇨事実そのままにうけとられる状態のこと。／抽象⇨事柄やものごとからある性質や要素を抜き出すこと。抽象することとは、特性が抽出されることで、他の具体的な個別性が除かれる(⇨捨象)ことになる。が、これは思考するには欠かせないことである。

## ③ 捨象

しやしやう

最近ではビデオやLDなどの視覚メディアが普及し、視覚的な要素を□□して聴覚的な要素だけをとり出してきた従来の音響メディアが、いかに一面的であったかが明らかになってきた。

(渡辺裕「聴衆の「ポストモダン」?」)

**意**抽象化することで、具体が除かれること。

## ④ 普遍

ふへん

## ⑤ 特殊

とくしゆ

学問に個人的な人間関係を持ち込むことであり、□□性を否定するものだという批判が浴びせられよう。

(田村正勝「社会学講義」)

他文化を自文化とは決定的に異なった□□なものとして見出だす「文化相対主義」とは、ぜんぜん別物である。

(岡真理「開かれた文化」)

**意**普遍⇨あらゆるものに広く及ぶ共通の、常にあてはまる性質。普遍的なものとは、抽象することではか現れてこない。／特殊⇨他のものとは異なる性質。

## ⑥ 帰納

きのう

## ⑦ 演繹

えんえき

毎日電車で通学する高校生は、誰でも何らかの法則をもっているはずだ。「この時間帯は混むので避けたほうがいい」、「この車両に乗るとす